

## 住家の被害

地震は夜遅く（22日午後10時8分ころ）に発生しました。真夜中の救出劇を経て、夜が明けるとともに、被害の状況が明らかになりました。堀之内区では全壊33棟、半壊15棟、三日市場区では全壊6棟、半壊12棟。住家の被害はこの2つの区に集中していました。



倒壊し道路をふさいだ家屋（堀之内区）



一次避難所に指定されていた堀之内公民館も被災（堀之内区）



一夜明けて地区の状況が明らかになった堀之内区（23日午前8時30分）  
（『信濃毎日新聞』平成26年11月23日）

## コラム 「白馬の奇跡」を生んだ深夜の救出劇

堀之内区では33棟が全壊し、26人が倒壊した建物に閉じ込められましたが、主に近隣住民や地元消防団の活躍により、夜半には全員が救助されています。また三日市場区では6棟が全壊しましたが、地震発生から1時間ほどで41世帯118人の安否確認を終えました。これだけの住家被害を受けながら亡くなった人を一人も出さなかったことは、「白馬の奇跡」と称されました。

倒壊した建物から生存者を救助  
（22日午後11時30分、三日市場区）

